

(様式第1号)

■ 会議録 □ 会議要旨

会議の名称	第12期第11回芦屋市環境づくり推進会議
日時	令和5年6月27日(火) 10:00~12:00
場所	芦屋市男女共同参画センター(分庁舎)2階 大会議室2
出席者	副会長 池内 清 委員 武田 誠 委員 村上 順子 委員 半田 孝 委員 浜橋 多恵子 委員 松下 仁美 委員 山下 大樹 委員 大上 勉
事務局	保全係長 岡本 祐子 課員 芝本 裕真
会議の公開	■ 公開 ----- □ 非公開 □ 一部公開 会議の冒頭に諮り、出席者○人中○人の賛成多数により決定した。 〔芦屋市情報公開条例第19条の規定により非公開・一部公開は出席者の3分の2以上の賛成が必要〕 <非公開・一部公開とした場合の理由>
傍聴者数	0人(公開又は一部公開の場合に記入すること。)

1 会議次第

(1) 開会

(2) 議事

ア・令和5年度「子ども環境作文・ポスターコンクール」について

・令和5年度「芦屋市環境フェスタ」について

イ その他

(3) 閉会

2 提出資料

会議次第

【資料①】 R5子ども環境作文・ポスターコンクール募集チラシ(案)

【資料②】 R5芦屋市環境フェスタに関する案(聞き取り結果)

【参考資料】

3 審議内容

(事務局)

本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまから第12期第11回芦屋市環境づくり推進会議を開催させていただきます。

本日、長井会長がご欠席のため、池内副会長、会議の進行をお願いいたします。

(池内委員)

はい。まず、事務局から委員の出席状況の報告をお願いします。

(事務局)

委員10名中、本日8名がご出席でございます。

半数以上の出席をいただいておりますので、本会議は成立しております。

(池内委員)

ありがとうございます。

本日、傍聴の方はいらっしゃいますか。

(事務局)

傍聴の方はいらっしゃいません。

(池内委員)

それでは、議事に入ります。次第に沿って、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

はい。

----- (資料の確認) -----

まず初めに、令和5年度「子ども環境作文・ポスターコンクール」についてです。【資料①】をご覧ください。作文コンクールの概要を説明しますと、毎年、夏休み期間に、市内の環境をテーマとした作文を小学生の子ども達に書いていただき、今の子ども達が芦屋市の環境についてどのような考えや思いを持っているかを知る上で実施しています。10月頃に応募作品を委員の皆様にご採点していただき、「最優秀賞・優秀賞・佳作」を決定し、12月頃に展示と表彰をしていただく予定です。なお、昨年度は、募集作品を作文だけでなくポスターも加えることで、子ども達により多くの作品を応募していただく機会に繋がればという意見もあり、ポスターによる募集も追加しました。ポスターの作品については、この「子ども環境作文・ポスターコンクール」とは別に環境施設課が主催の「住みよい芦屋をつくるポスター展」もあり、こちらでの応募作品と一緒にポスターを採点していただく予定です。

今回、委員の皆様にご確認いただきたい内容は、令和5年度「子ども環境作文・ポスターコンクール」の応募チラシにある募集内容と応募要項です。このチラシは、小学校の終業式までにお配りする必要があります。本日、皆様にご確認いただきましたら、印刷や仕分けを行いますので、皆様どうぞよろしく願いいたします。

(池内委員)

ありがとうございます。

今年度の「子ども環境作文・ポスターコンクール」に関するチラシについて、皆様何かご意見ございますか。

(大上委員)

昨年度からポスターコンクールを始めましたが、昨年度の募集チラシと比べて何か変わったところや昨年この会議で指摘を受けたことを教えていただけますか。

(事務局)

変わったところは、裏面の応募用紙のところで保護者の方の個人情報の部分を書き換えました。それ以外は昨年度と変わっていません。

(大上委員)

昨年、初めてポスターの募集をして、ここでもご意見いただいて、事務局の方でぎりぎりまで可能な手直しなどしていただいていた記憶があります。

(事務局)

この環境づくり推進会議でのポスターに関しては応募用紙のサイズを自由にしました。はがきサイズや写真サイズ、画用紙の大きさくらいまでの幅を持たせました。

(浜橋委員)

応募資格が小学生となっていますが、昨年、中学生のポスターも見たと記憶しています。

(事務局)

中学生のポスターは環境施設課の方です。中学生と小学生では絵の実力が違うので、同じレベルでは比べられないということがあり、昨年議題に上がり、推進会議としては小学生に書いてもらったものを発表しようという方向になったと思います。

(大上委員)

夏休み前に学校の先生が、生徒に知らせて集めていただくと思いますが、これとは別に環境施設課の募集も学校にチラシを配るのですか。

(事務局)

このチラシは一人一枚、夏休み前に全ての小学生に配布できるようにしています。環境施設課の方は人権や平和など様々な題材から選び、夏休みの図画工作としての宿題の中に入っています。

(山下委員)

小学生の夏休みの図工の宿題は、人権など様々な題材に応募できるような一覧を作っているのですが、それには環境づくり推進会議のポスター募集は載らないのですか。

(事務局)

これは載らないです。環境施設課の中にも自然に関するものを描いてくださいというものがあり、学校経由で作品が集まります。ただ、今回のこの取り組みに関しては、環境づくり推進会議としているものなので、作文もポスターも直接こちらに来ます。

(山下委員)

コロナ以降で学校の夏休みの宿題の出し方も変わってきており、宿題も少なくなってきました。読書感想文とは性質が違いますが、この作文やポスターを入れることができれば良いなと思います。

(村上委員)

昨年は、作文とポスターはどれくらい集まったのですか。

(事務局)

作文は11名の方。ポスターは5名でした。昨年からポスターを加えた理由は、従来の学校からの環境ポスターだどごみや地球温暖化のテーマに絞られてしまい、環境づくり推進会議でやりたいような自然環境に触れた思いなどのテーマがほぼなかったもので、そういうものを拾い出したいと昨年の会議で決まり、ポスターを付け加えることとなりましたね。

(大上委員)

環境づくり推進会議での気づいてほしいことや一緒に取り組んでほしいことなどの趣旨からみると、チラシの「例えば」の部分にある「環境にやさしい・・・」や「環境を守る・・・」を、「身近な自然」「自然環境を守る」などに変えることで、「自然とのふれあい」「自然に優しい」「自然を守ろう」というメッセージを子供達に発信し、読み取っていただければ良いですね。

(池内委員)

もう一つの狙いは、今、子供達がどこを向いているかを知りたいということです。昨年の作文のうち、本当に自然についてのものは少なく、ほとんどの子供達が自然に出て行っていないという印象が強かったです。なので、子供達が自然の中に遊びに行くのを促進できるようなメッセージが欲しいですね。

(大上委員)

アンケートの内容は自然や植物に触れていただくことと、その経緯を聞けるようになっていと思いますのでこれで良いと思います。チラシの表紙に「暑いけど家の周りで見つけてみよう」のようなキャッチフレーズを付けて、子供達が夏休みに魚や虫、植物に気づき、そのことを作文やポスターとして応募していただければ良いなと思います。

(事務局)

たとえば、チラシの「感動した芦屋の自然」と「自然とのふれあい体験」に「たとえば」と設けて入れておくのはどうですか。

(大上委員)

「お気に入りの芦屋の場所」も良いですね。ただ、「お気に入りの場所」となれば自然や環境と関係ない内容になるかもしれませんので、「自然を感じる～」といった文言を加えると良いかもしれませんね。他にも「感動した」「驚いた」といった文言もどうですか。

(半田委員)

何回か前の会議でもご紹介したと思いますが、今回の参考資料の「木と生き物に出会える散歩道」を見てください。昔、国でやっていた「私のお気に入りの散歩道」というコンクールがあり、自分の散歩道でどんな生き物に会えるということを短い文章で伝えるものがありました。

(大上委員)

「お気に入りの散歩道」ですか。散歩していない子供からすれば「ぜひ散歩してみよう。見つけてみよう」となりますね。「芦屋の環境について考えてみよう」というのはあっても良いですね。環境といっても様々な意味がありますが、その中でも生き物が大切だということを書いていただくために、「たとえば」を入れると良いかもしれませんね。

(村上委員)

子供によっては、「考えてみよう」というのではなく、「ふれあい」や「体験」などにすれば良いかなと思います。

(山下委員)

小学生はチラシの文章をちゃんと見ているので、読んだ時に「お気に入りの散歩道」も分かりやすいと思います。後は、「海や山や川などの自然の中で過ごして楽しかった体験」などと分かりやすく書いてあげたら良いかなと思います。

昨年の作品は、何年生が多かったですか。

(事務局)

例年、あまり偏りなく幅広い学年の方から提出いただいています。もちろん低学年の方からも提出されていて、昨年の最優秀賞は小学1年生の方でした。ここで言っている自然環境ではないですが、以前、小学6年生の作文でフードロスに関するものもありました。

ポスターに関しては、ごみや地球温暖化は従来の学校経由ではたくさん集まりましたが、自然に関する作品が少なかったのもので、その数を増やしたいという経緯があって増やしたものです。作文に関しては、池内委員がおっしゃるように「子供がどういう意見で、どんな目線で行っているのか」を知るため、たくさんの選択肢で幅広く募集するという経緯がありました。

(大上委員)

では、作文はごみなどに関するテーマでも良いですか。

(事務局)

作文に関しては、自然環境のテーマとしていても、川にごみがたくさんあって嫌だという作品も多いですが、自然と触れ合った結果で環境保全に興味を持ったという作品もあります。ポスターに関しては、環境施設課の方でゴミに関するテーマの作品が多いですので、逆に作文はそれらを作品にする場が他にないということもありますので、事務局としては、作文については広いテーマを残して良いのではないかと考えています。

(大上委員)

そうですね。環境づくり推進会議としては、自然環境をメインとしていますので、てっきり自然環境をテーマとして募集するものだと思っていました。作文とポスターのテーマの範囲は別ということでしょうか。

(事務局)

そうですね。紙面の関係で一緒のレイアウトですが、少し違います。

(大上委員)

ポスターと作文の二つを分けて書いてみてはどうでしょうか。

(事務局)

では、作文コンクールは例年通り環境作文コンクールとして、ポスターコンクールだけ芦屋の自然に関するポスター募集としましょうか。

(山下委員)

チラシの表紙に、過去の作品のタイトルを例として載せると良いかもしれません。

環境は、小学3年生から学習することとなります。小学校の低学年を対象とするのであれば分かりやすくする必要がありますね。高学年はテーマから課題に広げて注目する傾向がありますが、いずれにしても子供達に分かりやすいように説明してあげると良いですね。

(大上委員)

作文もポスターも、芦屋がテーマですよ。

でしたら、「環境作文コンクール」と「芦屋の自然ポスターコンクール」はどうでしょうか。

(事務局)

でしたら、「芦屋の自然を描いたポスターを募集」といった内容を加えて、チラシの応募事項のレイアウトも分けて作成しようと思います。

(池内委員)

他にはいかがですか。

「たとえば」の部分を整理した方が良いと思います。あまり細かく設定すると、子供達がそこにしか着目しなくなります。まず、「散歩道」という言葉を入れたいのと「海や川で楽しんだ思い出」という文言が良いと思います。あとは、「学校や地域のエコ活動」と「自分が家で気を付けていること」の2つはエコ活動ということでまとめることができるとと思います。「環境にやさしい芦屋の姿」は抽象的すぎるので外したほうが良いと思います。

(事務局)

それでは確認しますと、チラシの「たとえば」の部分は、「学校や地域のエコ活動」は残し、「自分が家で気を付けていること」は消します。「お気に入りの芦屋の場所」を「お気に入りの芦屋の散歩道」に変更します。「感動した芦屋の自然」と「自然とのふれあい体験」は残します。「環境を守るために、大人になったらしたいこと」は残します。「環境にやさしい芦屋の姿」を「海や山や川、近所の公園で過ごした楽しかった思い出」に変更します。

(大上委員)

「感動した芦屋の自然」と「自然とのふれあい体験」を「海や山や川、近所の公園で過ごした楽しかった思い出」にした方が書きやすく良いと思います。

(事務局)

分かりました。では、「学校や地域のエコ活動」「お気に入りの芦屋の散歩道」「海や山や川、近所の公園で過ごした楽しかった思い出」「環境を守るために大人になったらしたいこと」「未来の子どもに向けた環境メッセージ」の5つにしましょう。皆さんのご意見を反映させまして、印刷や仕分をして学校へ配布します。

(池内委員)

表彰は例年どおりですね。人数や金額の設定は予算や応募数もあるでしょうから、あとで調整するので良いでしょうか。

(委員一同)

----- (同意) -----

(大上委員)

入賞作品は市役所内で展示予定ですね。子供達に向けて、その旨を小さくても書く方が励みになると思います。

(事務局)

市役所内での展示はスペースが限られていますので、約8作品までしか展示ができないと思います。展示する作品は最優秀賞と優秀賞、佳作までで、努力賞は展示していません。チラシの表紙に「入賞作品は市役所内で展示する」といった旨を書き足しましょうか。

(池内委員)

環境フェスタの時にも展示ができれば良いと思います。優秀賞、最優秀賞はもちろん市役所で展示しますが、それ以外も親御さんもどんなものを書いたか気にされるので、環境フェスタで展示したいです。

(事務局)

最優秀や優秀賞などの展示作品は飾りつけしますし、環境課の執務室に一年間保管していますので、そのまま環境フェスタに活用することはできます。ただ、ポスターについては、昨年のは返却しましたので、今年環境フェスタで展示できるものは作文のみになります。従来は、2月に環境フェスタを開催していましたので、その年度の作文とポスターも展示できていました。

(池内委員)

その他何かありますか。

(山下委員)

スケジュールについてですが、学校へのチラシの持込みは、できれば7月14日くらいまでが良いかなと思います。

(事務局)

7月14日を目標に準備します。

(池内委員)

タイトなスケジュールですが、よろしくをお願いします。

次の議題について、事務局は説明お願いいたします。

(事務局)

次に、令和5年度「芦屋市環境フェスタ」についてです。前回の会議では、環境フェスタを総合公園で実施するにあたってどのようなプログラムが良いかご意見をいただきました。例年実施している環境団体によるワークショップや展示以外で「クイズラリー（スタンプラリー）」、「マッピング」といった案がありましたので、具体的にどういったテーマであれば楽しんでいただけるか、委員の皆様にもメールで聞き取りさせていただきました。また、それに伴う景品についても、併せて案をいただきました。ご回答ありがとうございました。聞き取りしました内容を【別紙②】のとおり集約しましたので、ご覧ください。

委員の皆様からも少しご説明いただければと思いますので、【別紙②】のとおり上から順番に

委員の皆様からお願いいたします。ひと通りご説明いただいた後に改めて話し合っていたきたいと思います。

(松下委員)

クイズを木にかけ、3択にすると答え合わせしやすいと思います。間違ったことはできないので、下見が必要になります。どんぐりを拾うと楽しいのでやりたいですが、9月の総合公園にどんぐりが落ちていなければ、別のものでも拾って楽しめれば良いと思います。あとはジオトープで生き物に触れたり、見たりできれば良いと思います。ただ、そうすると安全面もあり人員が必要になると考えています。

(浜橋委員)

外来生物についての扱いが最近変わったので、啓発になるようなことができれば良いと思いました。ザリガニやミドリガメについてです。

(村上委員)

小さな子供向けで、公園内で咲いている花を見つけてもらって写真を見せてもらうことや生き物ビンゴで公園内にいそうな生き物をビンゴに落とし込み、見つけた数で景品を渡すという案です。

(武田委員)

専門的なものではなく、たくさんの方が知っていそうな植物の名前をクイズにすると良いのではないのでしょうか。

(池内委員)

現地にちょうど開催時期にどんぐりがあれば良いのですが、どんぐりも種類がたくさんあるので、種類をあてるのが良いと思いました。3択くらいが良いですね。

(半田委員)

見てほしい必要があるポイントには人が立って案内ができた方が、来た人が興味深いところを素通りせずに楽しめると思います。

(大上委員)

「この植物にはどんな花が咲くでしょう」というクイズを出し、花がまた咲くころに見に来てくれたら良いなという目的でクイズを考えました。基本はスタンプラリーのポイントを示して、3択クイズが良いと思っています。

(山下委員)

基本的にスタッフをいろいろな場所には置かず、参加者が自分でクイズラリーを完結できるようなことをしたいです。受付で用紙をもらったら、自分達でポイントを探し、答え合わせをし、受付に戻って景品をもらうような流れです。

(事務局)

----- (大脇委員欠席のため、資料代読) -----

山下委員の案のように、基本的に自分でクイズラリーを回ってもらい、質問センターのよう

なものを設置して、参加者の疑問点を知識がある人に答えてもらうようなやり方でどうでしょうか。簡単な質問に対しては、誰でも答えるようにできたら良いですね。本来の目的は、総合公園にある自然を見つけてもらうことですので、その中でジャンル毎に分ける方法が良いと思いますがいかがでしょうか。

(池内委員)

どんぐりや葉っぱと言っても、形や大きさがそれぞれ違います。例えば、クヌギの葉とカシの葉は違いますので、クイズラリーという形にすることで集中してそれらを知ろうとすることに繋がって良いと思います。

(事務局)

例えばですが、どんぐりが拾える地点に質問を置いておくなど、テーマを限定し特定の地点にだけ質問を置くのはどうでしょうか。

(大上委員)

それだとスタンプラリーではなくなりますね。ですが、屋外のワークショップになりますし、それはそれで良いと思います。そもそもスタンプラリーをどうするかですね。例えばですが、受付で山下委員が作成した【参考資料】のシートを渡し、その答えとなるものを園内にいくつか置き、そこに行っていただくことで現物も一緒に見て回っていただくという内容でしょうか。そもそも子供達は地図を読むことができるのでしょうか。

(山下委員)

【参考資料】が良い例になると思い、準備しました。

(池内委員)

総合公園の地図はありますよね。その中で番号を振り、そこにクイズなど5つくらいポイントを用意したら良いと思います。ただ、ポイントしか着目しなくなりますので、加えて隠しポイントも用意し、正解するとボーナスポイントにすると面白いと思います。

(山下委員)

私も、5～6カ所くらいが良いと思います。

(大上委員)

葉っぱやどんぐりなどの写真などを提示しておいて、ポイントに行って同じものを探してもらうのはどうでしょう。

(山下委員)

今の小学校の子供達はタブレットを持っていますので、本当は植物の写真をタブレットに送り、それを見ながら園内を回って見つけてもらうと良いと思いますが、それができませんので、例えば、受付に植物の葉っぱや木の実の見本を置いておくとも良いかもしれません。天気が雨の場合は同じ場所に人が留まったりして大変になるかもしれませんので、やはり園内を自由に散策して見つけてもらう方が良いと思います。

(池内委員)

参加者一人一人に説明をしたいのですが、天候も考える必要がありますし、時間もかかって

大変ですので、準備が必要になるが、例えば事前に面白いポイントなどを資料にして渡すようにすれば良いのではないのでしょうか。

(大上委員)

そうするとスタンプラリーというよりも借り物競争みたいになりますね。ですが、どちらにするか決めないと話が進まないですね。

(事務局)

そうですね。今回決めていただきたいのは、3択クイズにするのか、実物を探してもらうのかですね。

(松下委員)

私は、両方併用すると思っていました。

(事務局)

でしたら、3パターンですね。いかがでしょうか。

(池内委員)

基本はスタンプラリーで良いと思います。

(大上委員)

実物を探してもらうテーマはボーナスポイントにすれば良いと思います。

(事務局)

では、クイズラリーの流れは、①受付で用紙をもらう。②自分達で回る。③受付などで詳しい説明を聞くか、もしくは時間がない人は資料をもらって帰る。以上で良いでしょうか。また、クイズとして3択問題を5つ用意し、ボーナス問題でモノを探してみようというのを作ると面白いと思います。

(村上委員)

深く知りたい人には、詳しい先生の解説を聞く場を用意するといったものも良いと思います。オプションのように時間を指定してツアーみたいに回ったり、お話を聞いたりできたら参加者に満足してもらえるのではないのでしょうか。

(大上委員)

雨が降った場合でも、傘をさして回ることはできますね。

(池内委員)

クイズに出発する前にポイントなどの説明を5分程度聞いてから、クイズラリーに出発するのであれば、雨の時でも対応できるのではないのでしょうか。ただ、一緒に探しながら散策するのは難しいかもしれません。

(事務局)

クイズ形式で5つ程度用意しますが、クイズのテーマは植物が良いですか。

(池内委員)

せっかくビオトープがあるので、メダカ、アメンボ、トンボなどをボーナスポイントとして探してもらうのを入れたら楽しいと思います。

(大上委員)

花も良いと思います。

(半田委員)

総合公園には、マツの木もあります。

(事務局)

そうですね。大脇委員の案にも、マツに関するクイズのテーマをいただいております。あとは、どんぐりに関するテーマもあれば良いですね。

(池内委員)

場所によりますね。例えば、形や大きさが違う葉っぱを対象として、予め植物や木を選んでおく方法もひとつだと思います。また、写真を置いてクイズにする方法も良いと思います。今、どんな木があるか確認する必要があります。

(山下委員)

事前に葉っぱを拾い、ラミネートなどにして展示すると面白いと思います。

(事務局)

でしたら、次回までに葉っぱに関するクイズを5つ用意します。

(大上委員)

マッピングとスタンプラリーは、違いますよね。

(事務局)

これまでの案を聞いていますと、両方で利用できそうな案もありましたね。

(浜橋委員)

総合公園全体の資料としては使いにくく、ビオトープの生き物になってしまいますが、南芦屋浜の冊子から、10月初旬など日付の近い資料を参考にクイズを考えると良いと思います。

(大上委員)

総合公園での生き物に関する冊子があつたりするのでしょうか。

自然の不思議に子供達が興味や関心を持ってもらえるようにしたいですね。「知識」と「答え合わせ」と「景品」を使って繋がればと思います。景品であれば、自然の素材を使ったものにしたいですね。

(池内委員)

本日、景品案の「ちゅうちゃんを作ろう」完成品サンプルを持ってきましたので、皆様に回覧します。材料は、メタセコイアの実やメロンの種、こちらの目の部分は、パンチで空けた紙を使っています。半分にすることで目の形を変えたりすることもできます。材料をセットとし

て置いたり渡したりできれば良いですね。5分くらいで作ることができます。

(委員一同)

----- (完成サンプル確認) -----

(事務局)

まとめますと、クイズラリーは葉っぱ等植物を中心とした5つほどのクイズを作ります。隠しポイントやボーナス問題として、ビオトープなどで現物を探すことを2～3個用意します。クイズに関しては事務局にて複数案を用意して、次回の会議でご意見いただくようにします。次回の7月の会議では、景品やマッピング、全体の流れについて。8月の会議で環境フェスタのチラシの確認。8月と9月で景品づくりをして、当日を迎えるようなスケジュールでしょうか。

(大上委員)

現地でのポイントを決める作業、マップの作成など事務局任せにすると大変ですので、現地で会議をしてみてもはどうでしょうか。

(事務局)

では、次回の会議は野外といたしましょうか。

(委員一同)

----- (同意) -----

(事務局)

では、現地を実際見てマップやクイズのポイント、クイズのネタなども決めることにします。後日、日程調整しますので皆様よろしくお願ひします。

(池内委員)

ありがとうございます。

以上で第12期第11回芦屋市環境づくり推進会議を終了します。

以 上